

研究課題名：長崎県内離島のマダニ数の変動と、二次救急病院におけるマダニ刺咬症やそれに伴う感染症による受診患者数を調査する臨床研究

1. 研究目的・方法

マダニは、日本紅斑熱や重症熱性血小板減少症候群（SFTS）などの原因となる病原体を媒介します。これらの感染症発症数のうち、長崎県における患者発生数は日本紅斑熱で国内5位、SFTSで国内7位と非常に多いことがわかっています。マダニはシカ、イノシシなどの森林に生息する哺乳類を吸血することで増殖するため、哺乳類の増加によってマダニが増加することが知られています。現在、長崎県内離島におけるシカ、イノシシ、マダニの生息数の実態や患者数との関連は明らかとなっておりません。

そこで、人間生活環境におけるマダニの密度と、長崎県内離島の二次救急病院を受診する患者さんの人数について調査を行うことにしました。2016年1月～2023年12月に「まだに症」、「日本紅斑熱」、「リケッチア感染症」、「重症熱性血小板減少症候群」、「ライム病」、「慢性遊走性紅斑」、「だに媒介性回帰熱」、「だに媒介ウイルス性髄膜脳炎」、「つつが虫病」の病名もしくはその疑いで当院を受診された方の、「性別」「年齢」「病名開始日」を調査し、長崎大学病院に個人情報がないようにした匿名データを送付し、解析を行います。

解析を行うことで、マダニに注意しなければならない季節や場所が推定でき、解析結果は長崎県福祉保健課や各地の保健所と共有することで、マダニ刺咬症の注意喚起の参考資料となり、住民のみなさんの被害防止に役立てる予定です。また、学会・学術誌での報告を行います。

2. 研究の対象

2016年1月から2023年12月の間に「まだに症」、「日本紅斑熱」、「リケッチア感染症」、「重症熱性血小板減少症候群」、「ライム病」、「慢性遊走性紅斑」、「だに媒介性回帰熱」、「だに媒介ウイルス性髄膜脳炎」、「つつが虫病」の病名もしくはその疑いで受診（通院もしくは入院）した方を対象とします。

3. 研究期間

長崎大学医歯薬学総合研究科長許可日（2024年3月12日）～2026年3月31日

4. 研究に用いる試料・情報の種類

研究対象者の性別、年齢、病名開始日など。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2024年9月9日までに当院受付までお申し出

ださい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。なお、2024年9月9日以降に、長崎大学病院に個人情報がわからないようにした匿名データを送付し、解析を行います。長崎大学病院に送付したデータは匿名化されているため、送付後の撤回ができませんのでご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

長崎県壱岐病院

氏名：古里 祐一郎(研究協力者)、平田 さくら(研究協力者)、

住所：長崎県壱岐市郷ノ浦町東触 1626 番地

電話：0920-47-1131 (代表番号)

研究責任者：

国立大学法人長崎大学大学院医歯薬学総合研究科皮膚病態学分野

氏名：室田 浩之(教授) 長崎大学病院 皮膚科・アレルギー科

住所：長崎市坂本1丁目12番4号

電話：095 (819) 7333 FAX 095 (849) 7335

研究分担者：

国立大学法人長崎大学大学院医歯薬学総合研究科生化学

氏名：服部 尚子(助教) 長崎大学病院 皮膚科・アレルギー科

住所：長崎市坂本1丁目12番4号

電話：095 (819) 7333, 095 (819) 7038

研究分担者：

国立大学法人長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科

氏名：服部 充(准教授)

住所：長崎市文教町1丁目14番

電話/FAX：095 (819) 2759

以上